

# 南明奈 x 松田忠雄 / Akina Minami x Tadao Matsuda

## akina-mono-chrome 南明奈デビュー10周年&誕生日特別企画

南明奈来場レセプション：5月19日（日）16:30 - 18:30 入場料 500円（18:30- 20:00 入場無料）

通常開催：5月20日（月） - 26日（日）11:00 - 20:00 入場無料

会場：tokyo arts gallery

東京都渋谷区東 2-23-8 Tel. 03-6427-6665 info@tokyoarts.com <http://www.tokyoartsgallery.com/>



このたびtokyo arts galleryでは写真家の松田忠雄氏によるタレントの南明奈さんデビュー10周年を記念した写真展を開催いたします。レンズを通して長年モデルと対峙してきた松田は、シャッターにあわせて瞬時の芝居を繰り広げる彼女達をスチールフォトの女優と称します。台本もなく共演者もないセットの中で、女優達は身体のすみずみへ神経を張りつめて、待ち受ける観衆へ向けた孤高の舞台を作り上げます。南明奈によるこの特異な表現力とその演技を一つのイメージへ固定する松田の感性とテクニックによって実現した今展は、ミニマルなモノクロの世界を展開いたします。「akina-mono-chrome」展を是非ご高覧ください。

「10代の頃、狂ったようにstill photoを撮り続けられた彼女を知っている。今はテレビの方が多いかもしいけれど、週刊誌、マンガ誌、ティーン向けファッション誌と連日、空港から空港へ飛び歩いていた。スピーディーにカメラの前で淡々とキャラクターを演じ分ける姿は、まさに写真用の女優、1/250秒で芝居をしていた。still photo に対する反射神経は当時から天才的だった。決してグラマラスではない彼女の肢体が多くの人を魅了した結果を考えればその表現力の裏付けにならないだろうか。

その写真から溢れるPUREさは芝居かと思うと掛け値なしに素であったし、横顔を見せる瞬間の計算された角度は完璧だった。本人さえ翻弄させられている何かを女優はその中に飼っているのかもしれないと思った。

10代だった彼女は意識する以前にstill cameraの前でも演じていたのではないだろうか。方法論を本人は語らないけれど、相手の欲する何かにもいつも反射していた。今回の撮影も結局、彼女の手掛かりにしかなくなっていない。演出はその現場の空気には許されていない。色彩を取り除いて情報を少なくしたぶん、彼女の発する温度や、彼女が反射させる空気感がダイレクトに伝わっている。」 - 松田忠雄 -

**松田忠雄** 東京出身。スタジオアシスタント、フリーアシスタントを経験後、1992年、渡辺雪三郎著「MODE」にてPhotographerとしてデビュー。1997年松田忠雄事務所開設。ファッション、グラビア、音楽、ドキュメント等、人物写真全般にわたり活動中。雑誌媒体を活動の中心に写真集やCD、WEBコンテンツ等幅広く作品を発表し続けている。近年はあたたためてきた動画映像をWEB媒体通じて現在多数発表中。2011年よりPhotographer集団[sharaku]とともに写真展を開催、本年も4タイトルの写真展を開催予定。